

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第20回）（公開）

日時：平成31年4月11日（木）14：00～15：23

議事概要：

- （1）チルジピロシン*を有効成分とする豚の注射剤（ズプレボ40注射液）の承認に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

- 評価対象マクロライドが牛、豚及び鶏に使用された結果としてハザードが選択され、これらの家畜由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないが、リスクの程度は低度であると考えた。また、蜜蜂及び馬については、特定すべきハザードがないことから、リスクの程度は無視できる程度と考えた。
- なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的に十分確立されていないと考えるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

- * マクロライド系抗生物質で、豚の細菌性肺炎の治療に用いられます。

- （2）薬剤耐性(AMR)対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画2016-2020の2018年度進捗状況の確認について

事務局から進捗状況について説明があり、今後も毎年度の進捗状況をワーキンググループにおいて確認することとされた。